



木々が芽吹き、色とりどりの花が咲き初める春。当館では、明るい陽光が降り注ぐ春爛漫の季節にふさわしく、花の名品を一堂に展示する展覧会を開催します。

四季折々に咲き誇る花々は、古くから日本人の心を魅了し、愛されてきました。画家たちにとっても花は魅力的なモチーフであり、現在にいたるまで、それぞれの個性が発揮された傑作が数多く生まれています。

奥村土牛《醍醐》は、樹齢約170年といわれる京都・総本山醍醐寺の名木「太閤しだれ桜」をモデルとした作品で、絵具を何層にも塗り重ねることで生まれた柔らかな色合いは、春の暖かい陽気を感じさせます。福田平八郎《牡丹》は、裏彩色を駆使し、牡丹の姿を細密に描き出しながら、どこか妖しげな美しさをまとっています。田能村直入《百花》は、季節の花々を味わうことができる画卷で、四季の草花100種を、まるで植物図鑑のように繊細に表しています。

また、本展では日本画とともに、梅原龍三郎《薔薇と蜜柑》や中川一政《薔薇》など、洋画の作品も併せてご紹介します。日本画だけでなく洋画が加わることで、より一層バラエティに富んだ花の表情をお楽しみいただきながら、華麗なる花の世界をご堪能ください。

* 所蔵表記のない作品はすべて山種美術館所蔵です。



田能村直入《百花》(部分) 1869(明治2)年 絹本・彩色 山種美術館 [画像請求 No. ①]



荒木十畝《四季花鳥》
1917(大正6)年 絹本・彩色
山種美術館 [画像請求 No. ③]



奥村土牛《醍醐》1972(昭和47)年
紙本・彩色 山種美術館 [画像請求 No. ⑥]

本展のみどころ

みどころ① 花の絵画で展覧会場が満開！

田能村直入、横山大観、菱田春草、奥村土牛、福田平八郎をはじめとした、名だたる画家たちの個性豊かな花々で会場が百花繚乱に！



©公益財団法人 JR 東海生涯学習財団

山口蓬春《梅雨晴》1966(昭和41)年
紙本・彩色 山種美術館
[画像請求 No. ⑧]



小林古径《白華小禽》
1935(昭和10)年
絹本・彩色 山種美術館
[画像請求 No. ⑤]



横山大観《春朝》
1939(昭和14)年頃
絹本・彩色 山種美術館
[画像請求 No. ②]



菱田春草《白牡丹》(部分)
1901(明治34)年頃
絹本・彩色 山種美術館
[画像請求 No. ④]

みどころ② ばらを愛した洋画家、梅原龍三郎と中川一政が登場！

花のなかでも、特にばらを愛した二人。その熱い想いがこもった名品を展示します。当館秘蔵の洋画が展示される貴重な機会でもあります！



梅原龍三郎《薔薇と蜜柑》
1944(昭和19)年 紙本・油彩
山種美術館

みどころ③ 奥村土牛《醍醐》とゆかりの桜が同時に見られるチャンス！

奥村土牛《醍醐》のモデルとなった「太閤しだれ桜」。2021年11月、その桜を組織培養した「太閤千代しだれ」を当館の玄関横に植樹しました。2024年の春も、《醍醐》とともに皆さまをお待ちしています。



2022年開花時の様子

■展覧会名：【特別展】花・flower・華 2024 —奥村土牛の桜・福田平八郎の牡丹・梅原龍三郎のばら—

■会 期：2024年3月9日(土)～5月6日(月・振休)

■休 館 日：月曜日[4/29(月)、5/6(月)は開館]

■開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ※今後の状況により会期・開館時間等は変更する場合がございます。

■入 館 料：一般1400円(1200円)、春の学割 大学生・高校生500円、中学生以下無料(付添者の同伴が必要です)
※障がい者手帳、被爆者健康手帳をご提示の方、およびその介助者(1名)は1200円(1000円) ※()内は前売料金
きもの特典きものでご来館のお客様は、一般200円引きの料金となります。 ※複数の割引・特典の併用はできません。
入館日時のオンライン予約も可能です(詳細は当館 Web サイトをご覧ください)。




■主な出品作品(予定)：約60点 ※所蔵表記のない作品はすべて山種美術館蔵。

山本梅逸《花虫図》、田能村直入《百花》、横山大観《春朝》、荒木十畝《四季花鳥》、菱田春草《白牡丹》、
結城素明《躑躅百合》、小林古径《白華小禽》、川端龍子《ハツ橋》、梅原龍三郎《薔薇と蜜柑》、中川一政《薔薇》、
奥村土牛《木蓮》《醍醐》、小茂田青樹《水仙》、福田平八郎《牡丹》、山口蓬春《梅雨晴》、速水御舟《紅梅・白梅》 ほか

■会 場：山種美術館(〒150-0012東京都渋谷区広尾3-12-36)

■問い合わせ：050-5541-8600(ハローダイヤル) 電話受付時間：9:00～20:00

■公式 HP：<https://www.yamatane-museum.jp/>

■公式 SNS：   

※ 出品作品および展示期間は都合により変更される場合があります。※ 本展周知目的でない画像の利用や転載はお断りします。

※ 本展周知で作品画像等の使用を希望される場合は、別途広報素材一覧をご参照いただくか、下記までお問い合わせください。

報道関係の方からの
本件に関する
お問合せ先

山種美術館広報事務局(ユース・プランニング センター内) / 担当：片山、平野、池袋
〒150-8551 東京都渋谷区桜丘町9-8 KN 渋谷3ビル4F

TEL：03-6821-8547 FAX：03-6821-8869 E-mail：yamatane-pr@ypcpr.com